

令和5年度第3回福岡県性暴力対策会議性暴力対策アドバイザー派遣制度に関する
専門委員会 議事要旨

1 日時

令和5年9月4日(月) 14時00分～14時45分
(オンライン会議)

2 出席者

参考資料2「福岡県性暴力対策会議性暴力対策アドバイザー派遣制度に関する専門
委員会委員名簿」のとおり

3 議事概要(●は委員の、◎は委員長の、→は事務局の発言)

(1) 議題1「特別支援学校の全校実施に向けた検討体制等について」

○ 資料1「特別支援学校の全校実施に向けた検討体制等について」により事務局
から説明を行った。

○ 委員により、以下の議論が行われた。

● 特別支援学校における性暴力対策アドバイザー派遣事業は、受講の対象をど
のように考えるのか、どの部分をわかってもらう必要があるのか等、個別性の
高い検討が必要。今の小学校・中学校・高等学校のテキストを使用できない場
合もある。テキストを作成したとしても、実際に授業を行う際に、個別性の問
題が出てくる。検討チームの中に、特別支援学校や特別支援教育の実態がわか
る人を入れた方が良いのではないかと。

● 教材を作成しても、学校により個別性があるので、その教材を使って授業が
できるかはわからない。実施する学校と打合せを行うことが重要になると感じ
る。

→ 特別支援教育の実態を把握した上で、アドバイザー派遣事業を実施していく
必要があると感じている。検討チームについては、特別支援教育課と協議の
上、特別支援教育に知見のある方の参加等について検討したい。

● 全国的にも、特別支援学校における性教育に熱心に取り組んでいる学校が多
数ある。先進的な事例や実践に係る情報をまとめた上で、特別支援学校のテキ
ストに活かしていく必要があるのではないかと。情報収集について検討いただ
きたい。

→ 先進事例の収集は適宜行っていく予定。

(2) 議題2「『学校における性暴力被害の対応』の手引き作成について」

○ 資料2-1「学校における性暴力被害の対応の手引き作成について」及び他県

の先行事例により事務局から説明を行った。

- 委員により、以下の議論が行われた。
 - マニュアルを作成するのみだと、学校現場における実際の活用は難しいのではないかと感じる。具体的な活用の方策や関係機関との連携についても議論を深めていただきたい。
- マニュアル作成後の実行のスキームについては、教育委員会等と協議をしながら検討し、いずれ専門委員会等で説明したいと考えている。
- 作成したマニュアルは、研修での活用のみではなく、学校に必ず1冊置くという扱いにした方がいいのではないかと考える。学校で二次被害を起こさないための意識改革を示すという意味でも、全校配置は大事ではないかと考える。
- マニュアルについては、各学校への配付を検討している。単に配付するだけでは活用されない可能性もあるため、教育委員会等と連携しながら、周知についても検討を行いたい。
- ◎ マニュアルの活用という場面になると、発達段階に応じて実態が異なってくる場合もあるため、研修等の形で広めていただきたい。教育委員会等とうまく連携できると良いと感じる。

(3) 議題3「小学校高学年テキストの見直しについて」

- 資料3「小学校高学年テキストの見直しについて」により事務局から説明を行った。
- 委員により、以下の議論が行われた。
 - 刑法改正により、性交同意年齢が引き上げられるなど、色々な制度が変わってきている状況。アドバイザー派遣事業もそういった制度の変更等を反映していく必要があるのではないかと感じる。

(4) 議題4「その他」

- 事務局から、「小学校低・中学年への先行実施派遣」及び「性暴力対策アドバイザースキルアップ研修及び意見交換会」について報告を行った。